



都議会厚生委員会で論戦をする和泉なおみ都議(12/10)

和泉なおみ都議の論戦みものる

2016年度東京都予算原案で子どもの貧困対策が前進

1月に発表された2016年度の東京都の予算原案には、いくつかの子どもの貧困対策を強化する内容が実現しています。和泉なおみ都議は、子どもの貧困対策について、昨年6月の本会議、11月の厚生委員会などで論戦をしてきましたが、その一部が実現したものと評価できます。

首都大学東京と連携した 子どもの貧困対策推進 (五千万円)

「子ども・子育て施策推進本部」に各局と連携した「子どもの貧困対策推進連絡部会」を設置し、首都大学東京の「子ども・若者貧困研究センター」と連携した調査研究を実施。



児童養護施設退所者等に対する すまい確保支援事業 (二千五〇〇万円)

児童養護施設等を退所する児童やひとり親世帯等に対し、都内の空き家を活用した住まいを確保するための支援を行うことにより、自立の促進を図る。

子どもの居場所創設事業 (八千四〇〇万円)

子どもが気軽に立ち寄り、食事の提供や学習支援等を行う居場所(拠点)を街中につくり、気になる家庭への見守りを通じて、NPOや民間事業者と連携して地域全体で子どもや家庭を支援できる体制を整備する区市町村に対し補助を行う。

ほかに、教育の分野でスクールソーシャルワーカーの配置の拡大や、都立高校に校内寺子屋をつくる等も、前進であり、評価できるものです。



和泉なおみ都議

2・3月駅頭宣伝予定

- 7:30～8:30
- 9日(金) 高砂北口
- 19日(金) 四つ木
- 23日(火) 金町北口
- 2日(水) 柴又

和泉なおみ都議のコメント

子どもの貧困問題は、きわめて深刻です。さらに、今ある施策も含めて、実効性のあるものにする必要があります。引き続き、都独自の「子どもの貧困対策推進計画」を策定させるために頑張ります。

和泉なおみ都議の 厚生委員会での発言

〈抜粋〉

「首都大学東京が十一月一日に阿部彩さんをセンター長に子ども・若者貧困研究センターを設立し(中略)さまざまな分野で貧困という視点から研究に取り組んでいく、もうすでに研究分野ではそのような取組が始まっているわけですから、それぞれの部署でそれぞれにやっていくというだけにとどまらず、この子ども・若者貧困研究センターとの連携を積極的に進めていただいて、東京都が計画の策定も含めて検討していただくよう強く求め」ます。



「戦争法」廃止の 署名行動

一月十日、亀有駅前
で、日本共産党葛飾区
議団や地域の皆さんと
一緒に、「戦争法」廃止
の署名活動をおこない
ました。

日本共産党都議会議員
和泉なおみ
さわやかレポート
 NO.22
 2016.2
 発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850
 葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851

東京一高い葛飾の国保料 値下げ運動を

葛飾区議団と学習会

一月二十六日（火）、和泉なおみ都議は、日本共産党葛飾区議団がおこなった国保問題学習に参加し、葛飾における国保の現状などについて意見を交換しました。

まずはじめに相川和義（東京社会保険推進協議会事務局次長）から国保の広域化や地域医療ビジョンなどの国の動向について話され、和泉なおみ都議

が、東京都の動きなどについて話しました。

その中で今年度の葛飾の保険料が東京六二自治体の中で一番高いことが問題になり（上図参照）、強力に値下げ運動をしていくことが話し合われました。

また四月から 大幅値上げ

一月十五日に開かれた二三区の区長会で、今年四月からの国民健康保険料を一人あたり四、六四四円（介護分をのぞく）引き上げるとしていることがわかりました。そのうち、均等割は、一五〇〇円の引き上げで、四六、二〇〇円になるといふことです。

東京62自治体で葛飾の 国保料金が一番高い (今年度)

(東京社保協作成・抜粋)

1位	葛飾区	445,627
30位	八王子	348,400
56位	国立市	284,335
62位	三宅村	218,970

夫婦とも40歳以上子ども2人
介護分を含む

ひどい！東京都が差押に補助

国民健康保険は、保険料が高すぎて

払えない人が増えています。

収納率の向上を理由に東京都は、市や区が徴収強化をすることをあおっています。そのために差押や資格証明書発行の件数の割合に応じて、交付金を出しています。

例えば、差押三〇〇件で二、〇〇〇万円、資格証明書発行割合が十%以上で一、五〇〇万円です。

生活がどんなに困窮しようと、医療を受けられなくなると、差押や資格証明書を発行して収納率を上げよという都の姿勢は、厳しく問われます。高すぎる保険料を少しでも安くして、都民が払えるようにすることこそ求められます。



後援会主催の「新春のつどい」に参加しました (1/24)

日本共産党都議会議員・和泉なおみの

生活・年金・法律相談

3月9日(水) 午後2時より
於・和泉なおみ事務所

事前にお電話ください

毎月第二水曜日に、東部法律事務所の方士さんのご協力をいただきまして、「生活・年金・法律相談会」を開催いたします。



子どもの笑顔に 励まされて

和泉なおみ

さまざまなおところへ調査に行きます。障害のある子どもたちが放課後を過ごす場所である放課後等デイサービスでは、特別支援学校から子どもたちと歩いてデイサービスまで戻り、一緒におやつを食べました。

普段は部屋の隅から動かないという自閉症のK君。今日とはとてもご機嫌です。さまざまな家庭の事情を持つ子供たちに、食事や居場所を提供する子ども食堂では、二階で宿題をしていた小学生と仲良くなり、「次も来る？」と聞かれました。

どこでも、とても人懐こい表情をみせる子どもたち。そして、どの現場にも、子どもたちの健やかな成長を願い、寄り添い、見守り、献身的に支える大人たちの姿があります。

行政は子どもたちに、こういう大人たちに、どんな支援ができるのか？本気になって考える必要があります。子どもたちの笑顔をしっかりと胸に刻んで、その笑顔を、その未来を、涙で曇らせないために、もつともつと頑張ろう。そんな決意で第一回定例議会に臨みます。